

各位

株式会社富山第一銀行

株式会社ライズとの  
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

当行は、株式会社ライズ（代表取締役 紙屋 幸夫）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを低減する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

## 記

## 1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

## 2. 融資概要

契約締結日	2023年9月29日
借入人	株式会社ライズ
融資金額	200百万円
資金使途	運転資金
モニタリング期間	5年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

## 3. 評価企業概要 株式会社ライズ

代表者	代表取締役 紙屋 幸夫
本社所在地	富山県魚津市住吉3956-11
事業内容	自動省力機械設備設計・製作
設立年月日	2006年11月28日

## 4. SDGs達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	自動省力機械設備を通じた経済・社会への貢献
インパクトの種類	経済面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	包括的で健全な経済
関連SDGs	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
対応方針	自動省力機械設備の供給拡大
毎年モニタリングする 目標とKPI	2028年までに売上高25%増加 (2022年度売上高1,198百万円)



株式会社富山第一銀行  
滑川支店長 横山 昌樹（中央左）  
滑川支店 支店長代理 廣野 浩一（左）

株式会社 ライズ  
代表取締役 紙屋 幸夫氏（中央右）  
事業本部部長 紙屋 隆志氏（右）

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部 : 柴田

TEL 076-461-3871

# ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：株式会社 ライズ



2023年9月29日

株式会社 富山第一銀行

1.	はじめに. . . . .	2
2.	企業概要. . . . .	3
	（1）会社概要	
	（2）経営理念	
	（3）沿革	
	（4）グループ構成	
	（5）当社（ライズ）セグメント構成	
	（6）バリューチェーン	
	（7）保有設備	
3.	事業内容. . . . .	6
	（1）自動省力機械設備設計・制作	
	（2）太陽光発電事業	
4.	人材育成・福利厚生・職場環境整備に向けた取り組み. . . . .	11
5.	SBT認証. . . . .	12
6.	インパクトの特定. . . . .	13
	（1）インパクトレーダーによるマッピング	
	（2）インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール	
	（3）日本におけるインパクトニーズの確認	
	（4）自動車部品業界におけるインパクトニーズの確認	
	（5）電機・電子業界におけるインパクトニーズの確認	
	（6）インパクトの特定	
	（7）特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
7.	KPIの設定. . . . .	20
8.	管理体制とモニタリング. . . . .	23

# 1. はじめに

富山第一銀行は株式会社ライズに対してポジティブ・インパクトファイナンスを実施するにあたって、同社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびESG金融ハイレベル・パネル設置要領第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、株式会社ライズの企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取組を支援するため、株式会社ライズに対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	株式会社 ライズ
調達金額	200,000,000円
調達形態	証書貸付金
資金使途	運転資金

## 2. 企業概要 (1) 会社概要 (2) 経営理念

### (1) 会社概要



社名	株式会社 ライズ
代表者	紙屋 幸夫
本社	〒937-0851 富山県魚津市住吉3956-11
設立年月	2006年11月
事業内容	自動省力機械設備設計・製作 太陽光発電事業
資本金	48百万円
売上高	1,198百万円 (2023年3月期)
従業員	51名 (2023年3月期)
工場面積	工場敷地：9,146㎡ 工場面積：3,031㎡

### (2) 経営理念

#### 良いモノづくりを通じて、社会に貢献する

私達は事業の根幹は人であると考え、お取引先様、全従業員をはじめ、全ての人を大切にします。

私達は社会への責任、お取引先様への責任、全従業員への責任を果たし、

健全で働きがいのある会社を創ります。

私達は飽くなき探究心を持って技術革新をすすめ、豊かな価値を創造し、

お客様に提供することで社会の進歩発展に貢献します。

## 2.企業概要 (3) 沿革 (4) グループ構成 (5) セグメント構成

### (3) 沿革

年月	事項
2006年11月	株式会社ライズ設立（資本金12百万円）
2008年4月	工場増設（8.7m × 35.8m）
2011年9月	工場増設（10.5m × 35.8m）
2018年8月	工場増設（10.5m × 35.8m × 3棟）
2020年8月	資本金48百万円に増資
2021年9月	S B T 認証イニシアティブの認定取得

### (4) グループ構成

株式会社ライズは、自動省力機械設備の設計・製作を行っている。関連会社の大富運輸株式会社は運送業を中心としてトラック、トレーラーによる重量物、長尺物、拡大物、精密機械運搬事業を行っている。関連会社に燃料販売業を営む有限会社大富商事があり、グループ全体で満足度の高い社会実現に向けた事業活動に取り組んでいる。

関連会社名	業種
大富運輸株式会社	運送業
有限会社大富商事	燃料販売業、宅地建物取引業

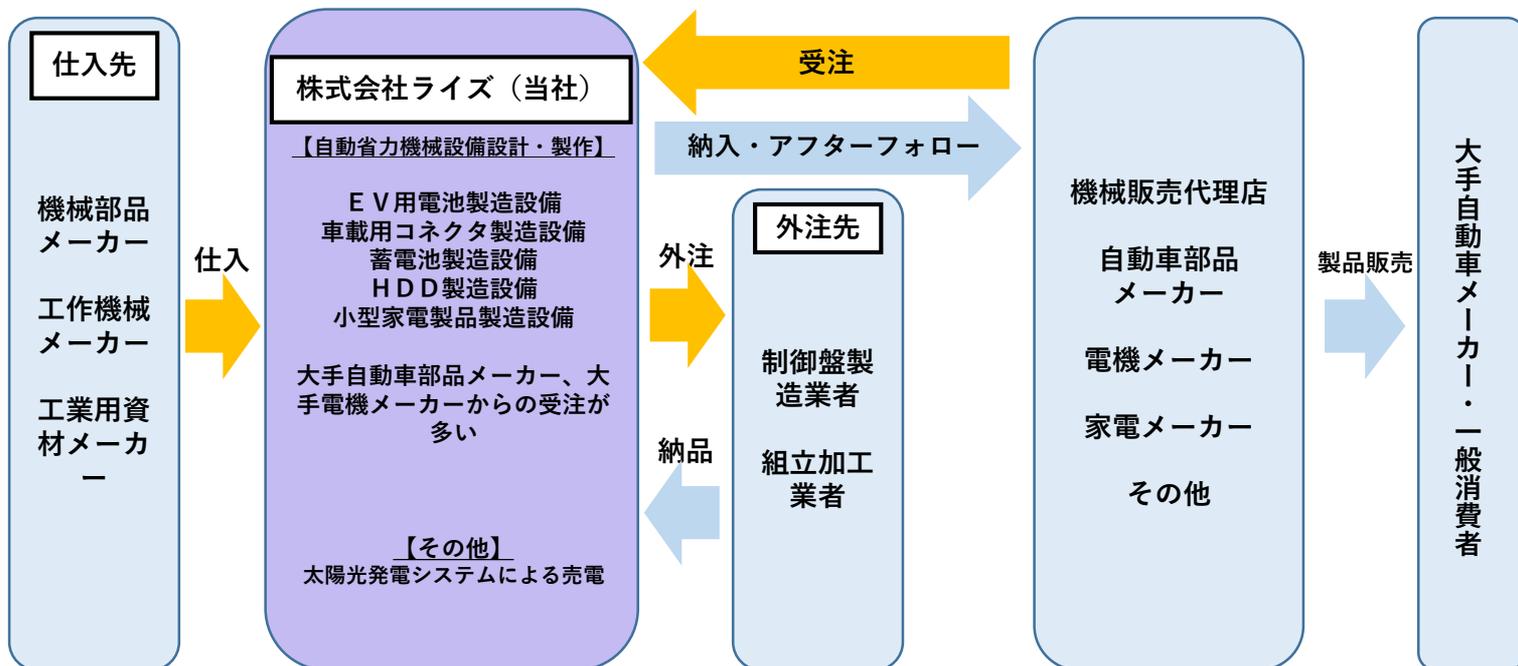
### (5) 当社（ライズ）セグメント構成

セグメント	取扱製品	売上構成比率
自動省力機械設備設計・製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カム・リンク機構機械</li> <li>・ 民生用小型コネクタ組立</li> <li>・ 車載用コネクタ組立</li> <li>・ 小型家電製品組立</li> <li>・ 二次電池自動組立</li> <li>・ リレー関連組立</li> <li>・ 自動車部品加工搬送</li> <li>・ 自動塗布検査等</li> </ul>	97%
太陽光発電	太陽光発電	3%

顧客要望に合わせて幅広い自動省力機械設備の設計・製作を行っている。取扱製品に目立った偏りは無く、幅広い対応力が同社の特徴と言える。

## 2.企業概要 (6) バリューチェーン (7) 保有設備

### (6) バリューチェーン

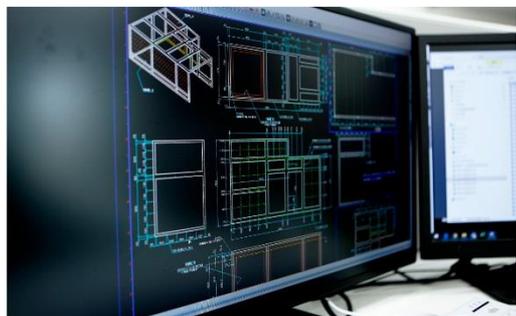


### (7) 保有設備

CADソフト	台数
2D CAD	32台
3D CAD	7台

測定機器	台数
工具測定顕微鏡	2台
測定支援システム	1台
高速カメラ付マイクロスコープ	1台
超高速・高精度レーザ変位計	1台

クレーン	台数
フォークリフト (2t)	1台
天井クレーン(1t)	6基



社内加工機	台数
汎用フライス盤	1台
NCフライス	1台
平面研削盤	2台
卓上パフ研磨機	1台

エンミドル研磨機	台数
コンターマシン	1台
卓上グラインダー	1台



## 3. 事業内容：自動省力機械設備設計・制作

### (1) 自動省力機械設備設計・製作

- ◆ 量産を目的とした自動省力機械設備の提案・製作を行っている。
- ◆ 顧客のニーズに合わせ、設計から組立、アフターフォローまで一貫して行えることが強み。
- ◆ 蓄積されたノウハウ・技術により多種多様な要望に対応可能。オーダーメイドの自動省力機械設備を製作し、顧客の効率化・省力化・簡素化・合理化に資する設備を提供する。
- ◆ 自動省力機械設備は製造ラインの一部として使用され、1メートル四方のユニットが複数並ぶものが多く、基本的には大型の設備となる。生産される物はパソコン関係、スマートフォン関係、自動車関係、電池関係と多岐に渡っている。
- ◆ 人材育成に対する取組みを積極的に行っており、主にジョブローテーション、資格取得の推奨を実施。ものづくりのプロ人材を育成することで同社の高い技術力が支えられている。

### 事業プロセス



#### 【打合・見積】

製品仕様、機械仕様をヒアリングし最適な設備を提案。同社の持つ「掴む」「運ぶ」「収納」「プレス」「塗布」「見る」「測定」「洗浄」といった8つの技術を合わせ、顧客の望む設備を提案することができる。顧客の製造している製品や製造ライン、ニーズによって提案は異なるため、高い経験が必要になる。

#### 【設計】

2D CADソフト32台、3D CADソフト7台を有しており社内の機械設計課で設計を行う。CADを用いて高度で複雑な設計作図を短時間で行うことができ、社内には専門の技術者が在籍。設計製造においては構想設計（製品全体の構想）、詳細設計（部品設計）、出図（図面作成）という工程を経る。ひとつの設計図に対して複数名でチームを作り、分担して設計を行う。高い技術を有しており顧客ニーズに応じた設計を行うことが可能。PLC（制御装置）HMI（ヒューマンマシンインターフェース）開発ツールは顧客の要望に応じて各メーカーの標準仕様に対応。三菱・オムロン・パナソニック・キーエンス製に対応しており幅広く顧客要望に応えることができる。この設計段階における柔軟性が同社強みであり、オーダーメイド設計の基盤となっている。

#### 【資材調達】

協力商社及び協力加工業者にて資材を調達。

#### 【組立・配線・調整】

自社工場内にて設計に基づき組立・配線・調整を行う。この工程では組立課が約2,000～3,000もの部品を組み立て、電装課が精密機器や制御版を動かすための電気配線を行う。最後に制御課がシーケンス制御（ラダープログラムを書き込み、機器の動作を確認しながら調整）を行う。オーダーメイドの機械であり、一つひとつ仕様が異なるため干渉やエラーが発生することもあるが、問題にはチームで対応し複雑な機器を完成させていく。ひとつの機器を完成させるのにかかる期間はおおよそ3週間～5週間に要する。

#### 【納入】

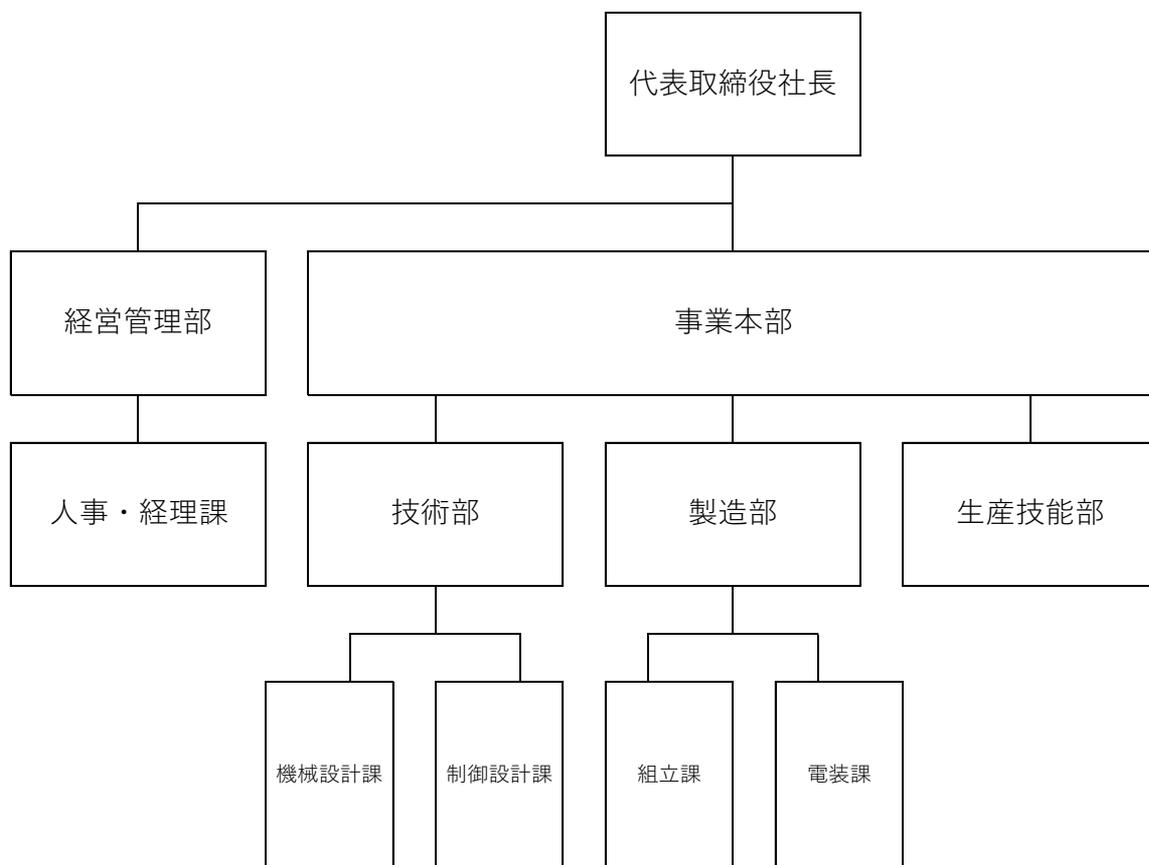
梱包を行い顧客へ納入する。顧客の工場での据付、立ち上げを行う。機器が正しく動作するかを確認するデバッグ作業や、不具合発生時の対応を行う。

#### 【アフターフォロー】

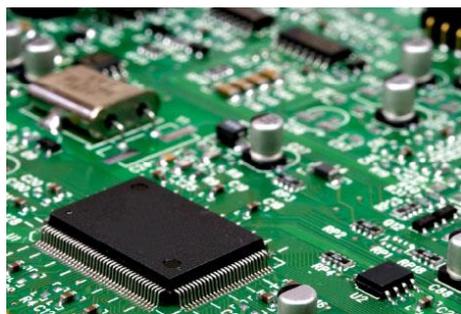
納入後の不具合対応を行う。

### 3. 事業内容：自動省力機械設備設計・制作

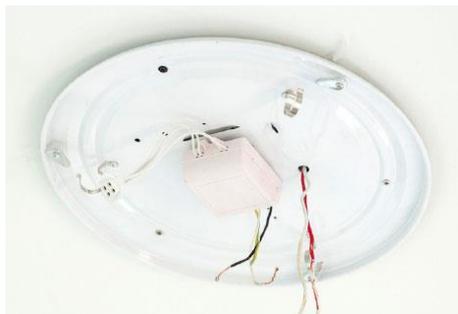
#### 組織図



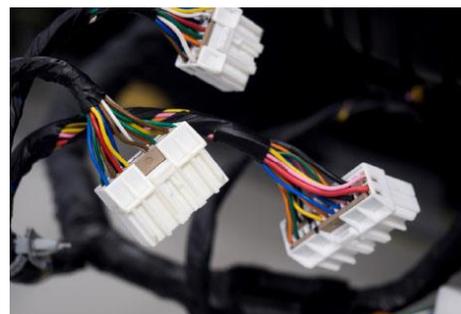
#### 最終製品



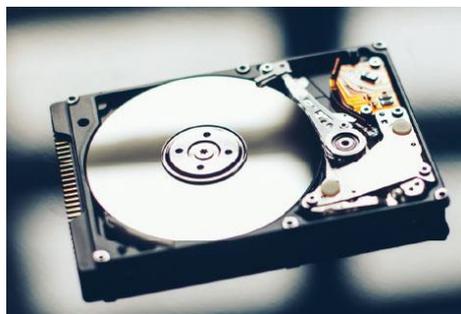
民生用コネクタ



シーリング



車載用コネクタ



HDD



リチウム電池



リレー

### 3. 事業内容：自動省力機械設備設計・制作

#### ファクトリーオートメーション

- ◆ ファクトリーオートメーションとは、生産工程の自動化を図るシステムの総称である。日本工業規格（JIS）の定義によると「工場の生産機能を構成する要素（生産機器、搬送機器、補完機器など）及び生産行為（生産計画、生産管理など）を統合化し、総合的に自動化を行うこと」とされている。一般的には工場を自動化することを指し、生産工程における材料の加工や部品の組み立て、製品の運搬や管理業務など広範がファクトリーオートメーションの対象範囲となる。製造業では、人材不足の解消や生産性の向上、品質の安定化などを実現するためにファクトリーオートメーションを進める企業が増加している。
- ◆ 生産効率の向上  
特定の業務においては作業者が行うよりもロボットや機械で自動化したほうが効率よく正確に行うことが可能。製品の品質を一定に保ちつつ、均一な作業効率での稼動を行うため生産効率を高めることができる。
- ◆ 不良率の削減  
製造現場では、経験と知識をもった作業員は高齢化が進み、若い技術者は少子高齢化によって不足している。精度と品質を維持するため工程内の自動化によるミス発生の低減と、検査工程の自動化により不良率を削減することが可能となる。
- ◆ 作業者の安全確保  
製造現場では、重量物の運搬や危険物の取扱により身体に負荷をかける作業や、作業者の怪我に繋がる工程が存在する。自動化により安全性確保につなげることが可能となる。

#### ファクトリーオートメーションにおける(株)ライズの役割

- ◆ 産業用ロボット導入による自動化  
製造業の中でもとりわけ自動車産業や電気機器産業では産業用ロボットの導入による自動化が行われている。搬送工程や組立て工程、溶接工程や塗装工程等、産業用ロボットのカバーする範囲は幅広い。当社が主とする製品は組立工程における自動化設備となる。
- ◆ 自動省力機械設備の提案・対応力の強み

納入設備/用途		最終製品
自動車製造設備	組立機・検査機・梱包機等	E V用電池、車載用コネクタ 等
電気機器製造設備	組立機・検査機・梱包機等	蓄電池、HDD、シーリング 等

製造工程におけるハンドメイドで行っている部分の自動化に強みを持っており、主に組立・検査・梱包工程における自動化に寄与している。オーダーメイドで製造するため、他社では自動化できない工程を同社では自動化することが可能であり、その技術力の高さから主要納入先は大手自動車メーカーや大手電気メーカー等多岐に渡る。単純作業を機械による自動化することで、「スピード」「正確性」「生産効率」の向上に寄与している。

納入設備には徹底した品質が求められ、当社は顧客の高い要求にワンストップで応えることが可能。顧客工場での据付、立ち上げ後のデバック作業を高いレベルの技術者が行うことで品質を担保している。顧客からの技術力への信頼は厚く、ものづくりに欠かせない存在として事業を行っている。

#### ◆ オーダーメイド設計

ものづくりの現場において、製品や製造工程は各工場毎に異なっており、顧客ニーズも様々である。同社ではジョブローテーションにより設計のスキルを持つ人材が30名以上在籍しており、提案力の基となっている。案件に対してはプロジェクトリーダーを筆頭にチームを組み顧客要望を検討。CADを用いた幅広い分野の設計、大手各メーカーの仕様に合わせたPLC・HMI開発ツールによる開発を行い、完全オーダーメイドでの設備設計を行う。各チームメンバーは、ジョブローテーションにより各工程を熟知しており、設計提案段階から製造過程もイメージできるため、より高度・スムーズな提案を行うことが可能である。

組立機械以外にも、自動洗浄機や自動塗布検査機、リレー関連組立ライン等多種多様な生産設備を製造しており、多様なニーズに応えられる高いレベルの技術者集団である。大手メーカーの信頼を勝ち取る要因であり、同社の特徴と言える。

### 3. 事業内容：太陽光発電事業

#### (2) 太陽光発電事業

- ◆ 本社工場屋根置き太陽光発電に加えて、福島県、愛知県において太陽光発電事業を行っている。
- ◆ 東日本大震災を契機にエネルギー問題への取組を開始。全設備の出力は合計で726.9kW。再生可能エネルギー創出によるGHG排出量抑制に貢献している他、社内全体のカーボンニュートラルへの意識を高めることに貢献している。

No	設置場所住所	設備の出力
1	富山県魚津市住吉	30.1 k W
2	富山県魚津市住吉	199.8 k W
3	愛知県西尾市一色町	200.0 k W
4	福島県いわき市石塚町国分	49.5 k W
5	福島県いわき市常磐水野谷町千代鶴	49.5 k W
6	福島県いわき市大久町大久入間沢	49.5 k W
7	福島県いわき市平絹谷館下	49.5 k W
8	福島県いわき市平絹谷館下	49.5 k W
9	福島県いわき市大久町大久北田	49.5 k W

#### 太陽光発電設備（当社工場屋根）



## 4. 人材育成・福利厚生・職場環境整備に向けた取り組み

### 人材育成

- ◆ 当社の高い技術は人材によって支えられている。
- ◆ 当社では多種多様な人材が活躍しており、専門知識が必要な職種であるがジョブローテーション・資格取得の推奨を中心とした教育制度が整備されている。ものづくりを担う人材を育成する意識が社内に浸透しており、若手人材の育成が積極的に図られている。

#### (1) ジョブローテーション

専門的な技術が要求される現場ではあるが、同社では計画的なジョブローテーションを実施しており、設計から製造まで一貫した知識を働きながら習得することが可能。設計や、組立てといった範囲に限定されずに、一人ひとりが製品の生産プロセスを理解することができる仕組みが整っている。

製造プロセスまで理解することが、設計時における提案力や顧客のニーズの具現化に繋がっており、同社の強みであると言える。



ジョブローテーションは3年程のサイクルで行われる。設計から製造まで一通り経験することで製品への理解、専門的かつ汎用的な技術の習得が可能となる。現在当社では機械設計の経験者が約30名在籍。

#### (2) 資格取得の推進

専門人材を育成するため、技術力を高めるためには従業員一人ひとりの能力開発が必須であることから、同社では資格取得を奨励。会社から教育費・資格取得費を100%補助し積極的な取組を促している。会社が指定する資格を取得した場合は報奨金制度を用意しており、ものづくりの高度化に向け専門知識を備えた人材の育成を図っている。

##### 主な推奨資格一覧

機械設計技術者
CAD利用技術者
各種技能士
電気主任技術者
電気工事士
QC検定

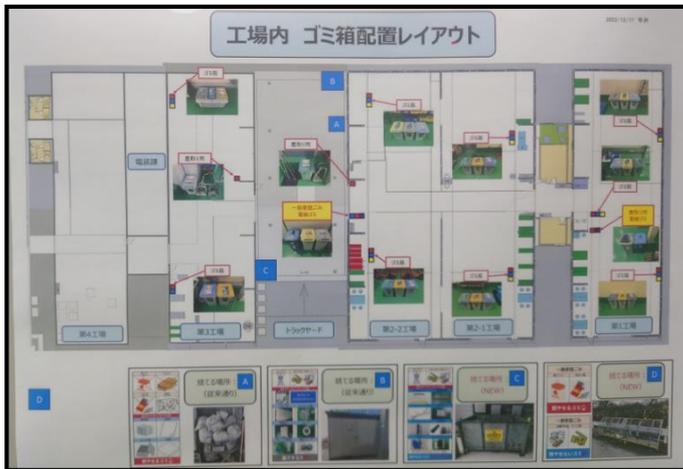
## 4. 人材育成・福利厚生・職場環境整備に向けた取り組み

### 福利厚生

- ◆ 働く社員の満足度向上のため、福利厚生制度充実にも積極的に取り組んでいる。各種休暇制度の他、バーベキュー等の懇親の場も社内で企画しており、会社ぐるみで多様な人材の活躍を目指している。
- ◆ 有給休暇消化推奨  
法定年次有給休暇の消化率は100%を達成。更に上乘年次有給休暇制度があり、年10日まで消化可能。会社ぐるみで有給休暇の取得し易い環境を構築しており、ワークライフバランスの促進に積極的に取り組んでいる。
- ◆ 男性育児休業の取得  
男性の育児休業取得を推進。1ヶ月以上の休暇取得実績も複数件あり。男性の積極的な育児への参画を推進することでワークライフバランスの向上・定着率の向上につなげている。

### 職場環境整備

- ◆ 職場環境整備・リサイクル意識の向上  
作業環境の整備に向けた取組をおこなっており、とりわけ廃棄物の分別・処理においては徹底したルールを設けている。各種廃棄物の処理方法・場所について徹底した周知を行い、清潔な作業環境・従業員へのリサイクル意識の向上が図られている。



区分	種類	分別品・注意事項	処理方法	廃棄場所	備考
産業廃棄物	廃プラスチック	ビニール・発泡スチロール・発泡カーブ・発泡スチロール製容器類	中継庫に分別して置く	トラックヤード 燃費	燃費
	紙類	プラスチック化粧紙・新聞紙	全てを積み上げて	トラックヤード 燃費	燃費
	雑物	雑物（紙類を除く）	トラックヤード 燃費	燃費	
	金属	鉄屑・鋳屑・溶断屑	トラックヤード 燃費	燃費	
	ガラス	ガラス（破片）	トラックヤード 燃費	燃費	
	油類	油類	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
資源物	紙類	紙類	トラックヤード 燃費	燃費	
	プラスチック	プラスチック	トラックヤード 燃費	燃費	
	金属	金属	トラックヤード 燃費	燃費	
	ガラス	ガラス	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
生活系一般廃棄物	紙類	紙類	トラックヤード 燃費	燃費	
	プラスチック	プラスチック	トラックヤード 燃費	燃費	
	金属	金属	トラックヤード 燃費	燃費	
	ガラス	ガラス	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	
	その他	その他	トラックヤード 燃費	燃費	

同社における取り組みの一例。ゴミ箱配置レイアウト・資源物の分別方法の周知を行っている。環境整備やリサイクルにおける意識を会社として高める取組がなされている。

ものづくりを支えるのは「人」であり、同社では特に人材育成の取組みに注力している。少子高齢化によって労働人口が減少し、ものづくりの現場における人手の確保・技術の承継が課題となっているなかで、同社は文系、理系問わず多様な人材が活躍している。ジョブローテーションや資格取得の推進といった人材育成の取組が行われており、この人材育成の仕組みが同社の強みであると評価することができる。

## 5. SBT 認証

### SBT 認証

- ◆ 当社はGHG 排出量削減に向けた取組みを行っており、自社で設定した削減目標について、国際イニシアティブであるSBT (Science Based Targets) により科学的根拠に基づいた目標として認定されている。
- ◆ 2013年から太陽光発電を導入し、2021年には再生エネルギー由来電力へ切り替えを実施する等、Scope1,2 における取組を先んじて実施している。



### 認定されたGHG削減目標

- ① スコープ1、スコープ2について、2019年度を基準に2030年までに46%削減する。
- ② スコープ3について排出量を測定し、削減することを約束する。

### (基準年度の当社GHG排出量) 2019年度

スコープ/カテゴリ	排出量 [t-CO2]	割合[%]
スコープ1+2	560.41	100%
内スコープ1	21.09	3.8%
内スコープ2	539.32	96.2%

## 6.インパクトの特定

### (1) インパクトレーダーによるマッピング

当社のバリューチェーン分析の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FIが推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査。

同社の主要事業は、国際産業標準分類に則り、「その他の特殊産業用機械製造業(2829)」「産業用機械器具設置業(3320)」「陸上太陽光発電」を適用した。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

#### ■ インパクト分布図

		同社事業					
国際産業標準分類		【2829】 その他の特殊産業用機械製造業		【3320】 産業用機械器具設置業		【35121】 陸上太陽光発電	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水			◆			
	食糧						
	住居						
	健康・衛生						
	教育						
	雇用	◆	◆	◆	◆		
	エネルギー					◆◆	
	移動手段						
	情報						
	文化・伝統						
	人格と人の安全保障						
	正義・公正						
	強固な精度・平和・安定						
環境	水(質)		◆	◆			
	大気		◆	◆		◆◆	
	土壌		◆	◆			
	生物多様性と生態系サービス			◆			
	資源効率・安全性		◆				◆
	気候		◆	◆		◆◆	
	廃棄物		◆		◆		
経済	包括的で健全な経済	◆		◆			
	経済収束					◆◆	

## 6.インパクトの特定

### ■ インパクト分布図

		川上の事業		川下の事業					
国際産業標準分類		【2610】 電子部品及び基盤製造業		【2720】 電池及び蓄電池製造業		【2750】 民生用機械器具製造業		【2910】 自動車製造業	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水								◆◆
	食糧								
	住居	◆				◆			
	健康・衛生	◆							◆◆
	教育								
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー			◆◆					
	移動手段							◆◆	◆
	情報	◆							
	文化・伝統								
	人格と人の安全保障								
	正義・公正								
	強固な精度・平和・安定								
環境	水(質)		◆		◆		◆		◆
	大気		◆		◆		◆		◆
	土壌		◆		◆		◆		◆
	生物多様性と生態系サービス								
	資源効率・安全性		◆		◆		◆		◆◆
	気候		◆		◆		◆		◆◆
	廃棄物		◆		◆		◆		◆
経済	包括的で健全な経済	◆		◆		◆		◆	
	経済収束							◆	

## 6.インパクトの特定

### ■ その他の特殊産業用機械製造業・産業用機械器具設置業

インパクトマッピングにおいて、当社事業に影響があると考えられるインパクトカテゴリーはネガティブインパクトでは「雇用」「水（質）」「大気」「土壌」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられた。ポジティブインパクトでは「雇用」「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「気候」「包括的で健全な経済」が挙げられた。

当社は、自動省力機械設備の設計、製作、設置を行い、ものづくりを支えている。顧客企業の製造ラインにおける自動化を促進することで、生産効率の向上、エネルギー効率の向上、作業者の安全確保に繋がっている。顧客のニーズに合わせ、設計から組立、アフターフォローまで一貫して行えることが同社の強み。顧客には大手自動車メーカーや大手電機メーカーがおり、ノウハウや蓄積された技術を元に顧客要望に応える製品を提供している。

また、人材育成においてジョブローテーションをはじめとした積極的な取組を行っている。同社の技術を支えているのは人であり、この人材育成の仕組みが同社の強みであると言える。

製造業では、人手不足の解消やエネルギー効率の向上、品質の安定化を図るため、工程の自動化を図る企業が増加している。日本においては少子高齢化による労働人口の減少が進んでおり、労働力を補う観点からもものづくりにおける自動化は必須の課題である。

自動化の促進によって得られる効果に「生産効率の向上」「不良率の削減」「作業者の安全確保」がある。特定の業務をロボットや機械に置き換えることによって、作業者が行うよりも効率よく正確に行うことが可能であり、また重量物の運搬や危険物の取扱などによる作業への負担を軽減することができる。

製造業の大きな課題として、工場稼働に伴うGHG排出や産業廃棄物の発生など環境への影響が挙げられる。自動省力設備の導入によりエネルギーロスの抽出、省エネ施策の実施に向けた検討が可能になり環境へのネガティブインパクトの低減に繋げることができる。

当社の主力事業によってもたらされる製造業における経済面でのインパクト、環境面のインパクトを分析する。経済面においては、同社製品を製造現場に導入することによって生産効率の向上をもたらすことにより川下事業における「包括的で健全な経済」の面でポジティブ・インパクトを拡大している。

環境面においては不良率が削減されることにより「廃棄物」のネガティブインパクトの抑制が図られる。また、エネルギーロスの削減が図られることで「雇用」「水（質）」「大気」「土壌」「資源効率・安全性」「気候」におけるネガティブインパクトの抑制が図られる。同社の事業は川下事業におけるインパクトが特に大きく、同社事業の拡大により社会全体のポジティブインパクトの拡大、ネガティブインパクトの抑制に寄与している。

雇用においては、安定雇用による生計へのポジティブインパクトがある一方、労働者の健康面と安全性のリスクがネガティブインパクトとなっている。当社では多種多様な人材が活躍しており、専門知識が必要な職種であるがジョブローテーション・資格取得の推奨を中心とした教育制度が整備されている。ものづくりを担う人材を育成する意識が社内に浸透しており、若手人材の育成が積極的に図られている。業容を拡大させるためには人材の確保が必須であることから、福利厚生制度も充実している。各種休暇制度の他、バーベキュー等の懇親の場も社内で企画しており、会社ぐるみで多様な人材の活躍を目指している。

### ■ 太陽光発電事業

インパクトマッピングにおいて、当社事業に特に影響があると考えられるインパクトカテゴリーはポジティブインパクトでは「エネルギー」「大気」「気候」「経済収束」が挙げられた。影響があると考えられるインパクトカテゴリーはネガティブインパクトで「資源効率・安全性」が挙げられた。

同社の環境面における取り組みにおいて、2013年から太陽光発電を導入し、2021年には再生エネルギー由来電力へ切り替えを実施する等、Scope1,2における取組を先んじて実施している。2021年からはSBT認証を取得し、カーボンニュートラルの重要性を社内外に発信。社員の意識も高めている。

以上の取り組みから太陽光発電事業を通じて、本業であるその他の特殊産業用機械製造業・産業用機械器具設置業における「大気」「気候」「資源効率・安全性」のネガティブインパクトの抑制が図られている。

## 6.インパクトの特定

### (2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール

当社の売上高の大半は日本における事業であり、日本のSDGsダッシュボードから同社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高いSDGsのゴールは下記となる。



### (3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応するSDGsのゴール6項目のうち、2項目が大きな課題が残る項目、2項目が重要な課題が残る項目、1項目が課題が残る項目、1項目が目標達成した項目である。日本に課題が残る項目が6項目中5項目該当していることから、日本における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。

## 日本

経済協力機構加盟国



戻る 概要 指標 ファクトシート 政策への取り組み



SDGダッシュボードとトレンド



ダッシュボード： ■ 大きな課題が残る ■ 重要な課題が残る ■ 課題が残る ■ 目標達成 ■ 情報がない  
 動向： ↓ 減少 → 停滞 ↗ 緩やかに改善 ↑ SDGsの達成を順調に進めているまたは維持している ● トレンド情報は利用できない

(出典：SDGsダッシュボード)

## 6.インパクトの特定

### (4) 自動車部品業界におけるインパクトニーズの確認

当社事業領域である自動車部品業界においては、環境問題への対応を重点課題としてとらえ、地球にやさしい環境づくりを推進している。CO2の削減や産業廃棄物の削減に向けた具体的目標を示し、自動車業界全体を通じた地球温暖化防止対策や、リサイクル推進体制の構築を目標としている。

第9次環境自主行動計画では2030年度CO2排出量と、2025年度の産業廃棄物の排出量に目標が定められており、当社のインパクトカテゴリーに対応するSDGsゴールは本計画が定めている目標のゴールと共通していると言える。当社のインパクトは5項目が本計画のSDGsゴールと一致しており、自動車部品産業における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。

#### 自動車部品工業会における第9次「環境自主行動計画」

項目	数値目標	同社のインパクトカテゴリーと共通するSDGsゴール
2030年度 CO2排出量	2013年度比で46%以上の削減を目指す。 対象：国内事業場のエネルギー起源排出量 (スコープ1,2)	   
2025年度 産業廃棄物	最終処分量3.6万トン以下の維持にチャレンジする。 (2000年度比で75%削減に相当) 再資源化率85%以上にチャレンジする。 (再資源化率に有価発生物含む)	 

## 6.インパクトの特定

### (5) 電機・電子業界におけるインパクトニーズの確認

当社事業領域である電機・電子業界においては、カーボンニュートラルを目指して2023年度目標である「カーボンニュートラル行動計画」フェーズIIを策定している。

#### 電機・電子業界「カーボンニュートラル行動計画」フェーズII

国内事業所の生産プロセス (Scope1,2) 【2030年度目標】

- 省エネ・エネルギー効率改善(コミット):エネルギー原単位を年平均1%改善(2020年度比9.56%改善)
- エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量削減(チャレンジ):2013年度比46%削減

目標達成に向け、着実な省エネ対策の継続、および再生可能エネルギーの自主的な導入を推進

本行動計画と関連する当社のインパクトカテゴリーに対応するSDGsゴールは次の通りである。



当社のインパクトは4項目が本行動計画のSDGsゴールと一致しており、電機・電子業界における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。

## 電機・電子業界 改定版 気候変動対応長期ビジョン



電機・電子温暖化対策連絡会

Liaison Group of Japanese Electrical and Electronics Industries for Global Warming Prevention

## 6.インパクトの特定

### (6) インパクトの特定

以上を踏まえ、同社のインパクトを下記のように特定した。

- **自動省力機械設備を通じた経済・社会への貢献**
- **温室効果ガス排出削減への取組み**
- **人材育成を通じた働きがいのある職場の提供**

### (7) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社のバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや自動車部品業界・電機・電子業界におけるニーズや方向性等を踏まえて同社と特に関連性の高いインパクトを整理する。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「**自動省力機械設備を通じた経済・社会への貢献**」「**温室効果ガス排出削減への取組み**」「**人材育成を通じた働きがいのある職場の提供**」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「**自動省力機械設備を通じた経済・社会への貢献**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「4.健全な企業経営」という観点で、「**温室効果ガス排出削減への取組み**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」という観点で、「**人材育成を通じた働きがいのある職場の提供**」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取組みの支援を目指す。

## 7. KPIの設定

### ● 自動省力機械設備を通じた経済・社会への貢献

当社は、自動省力機械設備の設計・製作・設置を行い、製造業における生産効率の向上、エネルギー効率の向上、人出不足の解消、作業者の安全確保に貢献している。組織全体で積み上げてきた経験やノウハウ、高い技術力によって取引先との信頼関係は強固。オーダーメイドで設計から製作、設置までワンストップで行う技術力があり、製造ラインに応じたオンリーワンの設備を提供可能。自社だけでなく、取引先が安心してものづくりを行える健全な経済活動への貢献が実現でき、「包括的で健全な経済」課題の解決に貢献すると考える。

項目	内容
インパクトの種類	経済面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「包括的で健全な経済」
対応方針	自動省力機械設備の供給拡大
KPI	2028年までに売上高25%増加 (2022年度売上高1,198百万円)

## 7. KPIの設定

### ● 温室効果ガス排出削減への取組み

当社は、環境面におけるネガティブインパクト抑制が最重要課題であると位置づけており、2013年から太陽光発電システムを導入。2021年にはSBT認証を取得し社内外への浸透を図っている。

気候変動対策やカーボンニュートラルへの貢献意識は高く事業分野である自動車部品業界、電機・電子業界の環境計画においても同社は先行して取組を行っており、業界の方向性とも一致している。

以上から「気候」のインパクトカテゴリーにおけるネガティブインパクトを抑制していると評価でき、今後とも継続した取組みを期待するところである。

項目	内容
インパクトの種類	環境面におけるネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「気候」
対応方針	工場内の電力抑制
K P I	2019年度を基準にG H G排出量を2028年までに37%削減

## 7. KPIの設定

### ● 人材育成を通じた働きがいのある職場の提供

高い技術力、専門知識が要求される仕事であることから、当社では人材育成を最も重要なテーマと捉えている。当社には理系人材だけでなく、文系人材を含めた多種多様な人材が当社のジョブローテーション・資格取得の推進を通じて技術者として一人前に成長している。技術的な指導はもちろんのこと、従業員の定着に向けたフォロー体制、教育体制が整っており従業員一人ひとりが働きがいを持ち仕事に取り組む環境が構築されている。人材育成の仕組みは同社の強みであり、この強みを伸ばしていくことが「雇用」のインパクトカテゴリーに対するポジティブインパクトの拡大に資すると考えられる。

多様な人材にもものづくりの魅力を伝え、将来的にもものづくりを支えていく人材を育成することは、経済・社会にとって非常に重要な点だと評価できる。

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」
対応方針	推奨資格取得者増加
KPI案	推奨資格取得率100% (推奨資格一覧から各自1つ以上の資格取得を図ります。)

#### 主な推奨資格一覧

機械設計技術者
CAD利用技術者
各種技能士
電気主任技術者
電気工事士
QC検定

## 8. 管理体制とモニタリング

### インパクトの管理体制

当社は、紙屋社長を中心として、環境対策を中心としたサステナビリティ経営に関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビュー、改善計画の策定等を実践・管理していく体制が整っている。

本件におけるインパクトについては、当社環境保全委員会が中心となり、管理・達成に向けた施策を実施する。

#### インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 紙屋 幸夫
管理責任者	事業本部部長 紙屋 隆志
管理部署	事業本部

### モニタリング方法

当社に対する本件PIFのモニタリングは、インパクト管理者と富山第一銀行の担当者（法人事業部営業推進役及び営業店担当者）により年1回以上の協議を通して実施する。また日々の情報交換や営業活動を通じて十分に検証を行っていく。